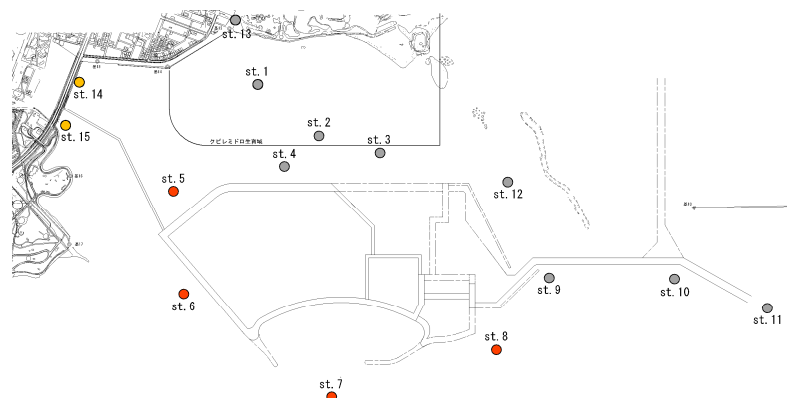


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討					
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は10月24日のst.1で6.3mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は10月12日のst.4で4.3mg/Lであった。		<p>今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、汚濁防止膜設置、床堀、コンクリート打設等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p> <p>今月の国施工事は、航路泊地・護岸工事・護岸工事・岸壁築造工事・橋梁撤去工事で、浚渫工、土捨工、汚濁防止膜カーテン引揚げ、裏込め裏埋工、上部工、基礎工、法留め工、被覆・根固め工、仮設橋梁撤去工(補強・撤去)、構造物撤去工、汚濁防止膜移設等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。</p>						
	水質調査結果	<table border="1"> <tr> <td>クビレミドロ監視地点基準値 【st.1～3: SS=7mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.6mg/L、1.1～6.3mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.5mg/L、0.2～4.3mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入部負荷量の調査地点</td> <td>SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=12回(29計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(29計測中) 平均値は12.1mg/L、3.2～30.5mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</td> <td>10/15の30.5mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった。</td> </tr> </table>			クビレミドロ監視地点基準値 【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.6mg/L、1.1～6.3mg/Lの範囲で推移していた。	工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.5mg/L、0.2～4.3mg/Lの範囲で推移していた。	流入部負荷量の調査地点
クビレミドロ監視地点基準値 【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.6mg/L、1.1～6.3mg/Lの範囲で推移していた。								
工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.5mg/L、0.2～4.3mg/Lの範囲で推移していた。								
流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=12回(29計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(29計測中) 平均値は12.1mg/L、3.2～30.5mg/Lの範囲で推移していた。								
流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	10/15の30.5mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであり、降雨による濁水流入もみられなかった。								
基準超過時の気象概況	<p>・全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>						
基準超過時の工事状況	<p>全ての地点で、監視基準を満足していた。</p>								

第7回(10月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和2年10月1日～令和2年10月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は10月20日(PM)のst.5で観測された8.1mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.5mg/L、<1.0～8.1mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中25回 st.15=29計測中25回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中3回 st.15=29計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14: 10/15 (PM 上げ潮時)60mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。濁りの滞留が見られた。 st.15: 10/5 (AM 下げ潮時)30mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。濁りの滞留が見られた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>	<p>【調査位置図】</p> 		
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

